

第4 救 助

第1章 救助の概況

1 救助隊の範囲

昭和61年4月の消防法改正により救助隊が法的に位置付けられ、さらにこれを受けて同年10月に救助隊の編成、装備および配置の基準を定める省令（昭和61年10月1日自治省令第22号。以下「省令」という。）が公布（昭和62年1月1日施行）されたことに伴い、同省令に基づき市町村が配置する人命の救助を行うため必要な特別の救助器具を装備した消防隊を救助隊としている。

2 救助隊及び救助隊員

人口10万人以上の消防常備市町村には、省令の規定に基づき、特別救助隊が配置され、中核市等の消防常備消防市町村には、特別救助隊のうち1以上の高度救助隊が、また東京消防庁及び政令指定都市には、高度救助隊のうち1以上の特別高度救助隊が、それぞれ配置されている。（第1表参照）

第1表 救助隊数及び救助隊員数

（令和6年3月31日現在）

区分	救助隊数			救助隊員数		
	隊数		兼任	隊員数		
	専任	専任		兼任		
第2条	7	1	0	112	16	0
第4条	6	4	0	96	64	0
第5条	2	1	0	32	16	0
第6条	1	1	0	16	16	0

3 救助活動の状況

(1) 救助活動の範囲

調査の対象に当たって対象とした救助活動は、次のいずれにも該当する火災、災害又は事故により発生したものであること。

ア 要救助者の存在が予想され、しかも、その生命又は身体に現実の危険が及んでいるものであること。

イ 緊急に被害者を人力、機械力、器具等を用いて安全な場所に救出する必要があるものであること。

ウ 消防機関が行ったものであること。

(2) 救助活動状況の概要

令和5年中における当市の救助活動状況は、救助件数253件（対前年比16件増、6.8%増）、救助活動件数148件（対前年比22件増、17.5%増）、救助人員162人（対前年比27人増、20.0%増）であり、救助件数、救助活動件数及び救助人員数は、昨年より増加している。（第2表、第1図参照）

第2表 救助件数・救助活動件数及び救助人員の推移

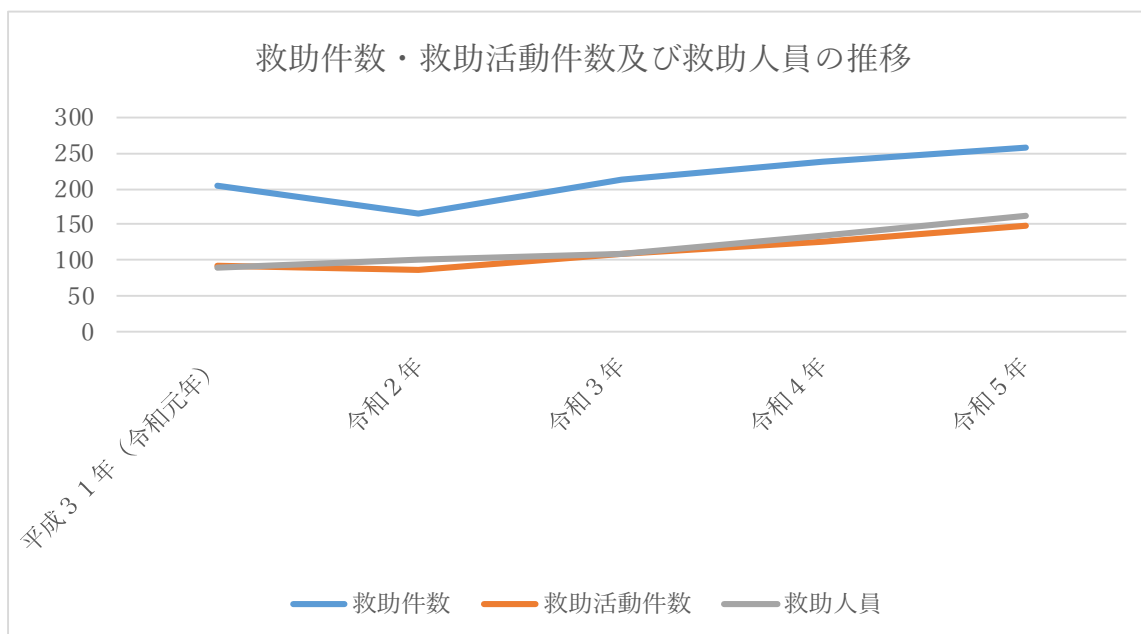
（令和6年3月31日現在）

	救助件数		救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年比 (%)	件数	対前年比 (%)	人員	対前年比 (%)
平成31年 (令和元年)	205	▲12.0	92	▲21.4	90	▲30.2
令和2年	165	▲19.5	86	▲6.5	101	12.2
令和3年	213	29.1	110	27.9	110	8.9
令和4年	237	11.3	126	14.5	135	22.7
令和5年	253	6.8	148	17.5	162	20.0

▲は、減を表す。

(件) 第1図 救助件数・救助活動件数及び救助人員の推移

（令和6年3月31日現在）



(3) 事故種別ごとの救助活動状況

事故種別ごとの救助件数の内訳は、「交通事故」70件（対前年比25件増、55.6%増）、「水難事故」22件（対前年比3件増、15.8%増）、「建物事故」38件（対前年比1件増、2.7%増）、「その他事故」49件（対前年比6件増、14.0%増）が増加する一方で、「火災」68件（対前年比14件減、17.1%減）、「自然災害事故（風水害）」3件（対前年比3件減、50.0%減）、「機械事故」3件（対前年比1件減、25.0%減）、「ガス欠」0件（対前年比1件減、50.0%減）が減少している。

事故種別ごとの救助活動件数の内訳は、「火災」9件（対前年比1件増、12.5%増）「交通事故」45件（対前年比13件増、40.6%増）、「水難事故」18件（対前年比2件増、12.5%増）、「建物事故」32件（対前年比件3件増、10.3%増）、「その他事故」38件（対前年比5件増、15.1%増）が増加する一方で、「自然災害事故（風水害）」3件（対前年比件1件減、25.0%減）が減少しており、「機械事故」3件（対前年比0件）及び「ガス欠」0件（対前年比0件）は前年と同数となっている。

事故種別ごとの救助人員の内訳は、「交通事故」58人（対前年比23人増、65.7%増）、「水難事故」19人（対前年比3人増、18.8%増）、「建物事故」33人（対前年比3人増、10.0%増）、「その他事故」40人（対前年比3人増、8.1%増）が増加している一方で、「火災」6人（対前年比1人減、14.3%減）、「自然災害事故（風水害）」3人（対前年比4人減、57.2%減）が減少しており、「機械事故」3人（対前年比0人）は前年と同数となっている。（第3表参照）

第3表 事故種別救助活動状況

（令和5年1月1日～令和5年12月31日）

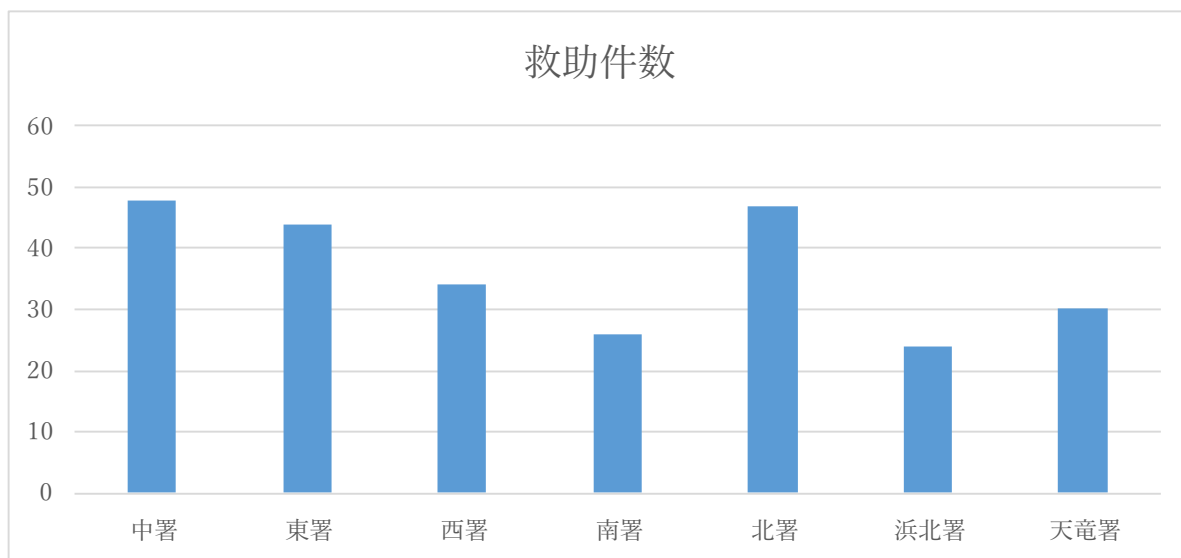
事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害事故	機械事故	建物事故	ガス酸欠事故	破裂・爆発事故	その他事故	合計
救助件数 (件)	68	70	22	3	3	38	0	0	49	253
救助活動件数 (件)	9	45	18	3	3	32	0	0	38	148
救助人員 (人)	6	58	19	3	3	33	0	0	40	162

(4) 管内別の救助件数状況

各消防署管内の救助件数は、中消防署管内 48 件 19.0%、東消防署管内 44 件 17.4%、西消防署管内 34 件 13.4%、南消防署管内 26 件 10.3%、北消防署管内 47 件 18.6%、浜北消防署管内 24 件 9.5%、天竜消防署管内 30 件 11.8%となっている。(第2図参照)

第2図 管内別の救助件数状況 (件)

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)



4 救助件数における救助隊配置について (分析)

令和5年中における救助件数について、交通事故件数の最多は、北消防署管内の16件で、次いで東消防署の15件となっている。交通事故件数については、人口比率等に比例することがなく、交通事情に左右されるため、数値的根拠を見出すことは困難であるが、各隊の活動件数の誤差は数件であるため、救助隊の適正配置がなされていると考える。

建物事故件数にあつては、最多は、中消防署管内の17件で、次いで東消防署、西消防署及び北消防署管内の5件となっている。建物事故発生件数の多い、中消防署管内は、人口比率が市内で最も高い地域であり、建物件数が非常に多い管内であるため建物事故件数が多いと考える。

水難事故件数の最多は、東消防署、西消防署、北消防署及び天竜消防署管内の4件となっている。その中で、西消防署に配置されている救助隊は、当局唯一の水中検索救助に特化した部隊であり、浜名湖や沿岸部を管轄としているため西消防署に配置している。

その他事故の最多件数は、管内に山間部を管轄する天竜消防署が16件であり、その多くは山岳救助事案である。

署別救助件数の最多は、中消防署管内48件であり、次いで北消防署管内の47件となっている。

以上の結果を考察すると、救助隊の配置については、数値的根拠はもとより、市民サービス（安全・安心）において適正であると考ええる。

なお、中特別高度救助隊及び南高度救助隊は、共に高度救助資器材を多く保有している部隊であり、大規模災害発生時において、市内での発生時には、人口比率が最も高く、建物件数が非常に多い管内に配置されていることで市民サービス（安全・安心）において適正であると考ええる。

今後においても、救助件数の状況を注視し、市民の期待に力強く応えるよう、当局の救助部隊の適正配置を図っていく。

5 救助隊員の教育訓練の実施状況

消防職員の救助活動に関する教育訓練については、浜松市警防規程により、人命救助技術及び救助資器材の使用向上を図る訓練等を実施し、必要に応じて訓練効果の確認を行い、救助活動の向上に反映させるべきこととされている。（表4表参照）

第4表 救助訓練実施状況表

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

		総数	月別											
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	回数	2,703	225	201	239	289	302	215	249	210	199	200	177	197
	人員	12,505	984	914	1,053	1,498	1,732	975	1,100	933	889	834	756	857
	時間	4,593	337	339	380	626	789	308	380	319	296	285	308	258
体力錬成訓練	回数	474	42	34	40	11	41	49	51	42	42	39	36	47
	人員	2,352	187	176	188	45	201	215	237	179	184	161	168	211
	時間	488	43	37	39	11	40	50	49	41	40	37	36	47
ロープ基本・応用訓練	回数	208	26	14	12	49	11	21	13	6	9	16	12	19
	人員	940	112	58	62	259	47	93	50	23	37	68	58	73
	時間	359	39	23	19	139	12	26	20	7	12	19	21	25
検索・救助訓練	回数	975	44	56	117	140	202	73	71	67	55	49	55	46
	人員	4,896	195	250	497	787	1,278	380	330	310	240	213	227	209
	時間	2,088	68	94	188	356	667	140	136	118	82	73	97	72
各種救助器具取扱い訓練	回数	389	39	33	23	61	18	28	41	34	29	37	23	23
	人員	1,590	149	121	87	282	71	122	162	142	121	148	102	83
	時間	489	42	51	26	86	23	34	40	42	36	48	38	26
各種救助事象想定訓練	回数	256	27	28	31	9	4	11	33	23	22	22	20	26
	人員	1,137	119	122	148	35	18	48	144	105	97	100	80	121
	時間	476	58	44	61	9	5	19	65	39	39	34	67	39
その他の訓練	回数	401	47	36	16	19	26	33	40	38	42	37	31	36
	人員	1,780	222	187	71	90	117	137	177	174	180	144	121	160
	時間	704	88	92	28	26	43	40	72	73	88	55	51	50

1訓練を2署以上で実施した場合、各署でそれぞれの分類に回数、人員、時間を計上することとする。

1訓練で複数の訓練を実施した場合は、それぞれの分類に回数、人員、時間を計上することとする。

6 国際消防救助隊の活躍

昭和61年、海外で大規模災害が発生した場合に人道及及び国際協力推進の観点から世界のトップレベルにある我が国の消防機関の救助隊を迅速に派遣する体制を整備することとし、国際消防救助隊（International Rescue Team of Japanese Fire-Service 略号‘IRT-JF’愛称‘愛ある手’）を総務省消防庁が発足させた。

その後、外務省が中心となり、海外における大規模災害に対し、被災国政府の要請に応じ、緊急援助活動を行うため、昭和62年9月に「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」を制定した。

国際消防救助隊は、同法に基づく国際緊急援助隊の一部を構成するものであり、令和5年2月現在、全国77消防本部599名の隊員が登録（当局では、11人が登録）されており、派遣に即応できる体制（派遣当番日第1順位：毎月25日及び26日、第2順位：毎月27日及び28日）を常時確保している。

国際緊急援助隊派遣実績はこれまで22回にわたり派遣されており、当局における派遣は、平成27年4月26日から平成27年5月9日まで、ネパール連邦共和国において発生した地震災害に3人の職員を派遣した。

救助関係

1 救助活動の状況

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

種別	総数	火災時救助活動			救助活動										
		建物	建物以外		交通事故	水難事故	自然災害事故	機械事故	建物事故	ガス酸欠事故	破裂・爆発事故	その他事故			
出動活動人員・車両															
出動件数	253	68	66	2	185	70	22	3	3	38	0	0	49		
活動件数	148	9	9	0	139	45	18	3	3	32	0	0	38		
救助人員	162	6	6	0	156	58	19	3	3	33	0	0	40		
出動活動人員	計	出動人員	7987	4686	4619	67	3301	1190	626	128	48	538	0	0	771
		活動人員	1500	79	79	0	1421	416	265	84	36	264	0	0	356
	救助隊員	出動人員	1436	579	567	12	857	284	179	46	13	155	0	0	180
		活動人員	462	37	37	0	425	130	69	42	13	75	0	0	96
	消防隊員	出動人員	3573	1903	1881	22	1670	557	358	45	20	263	0	0	427
		活動人員	867	42	42	0	825	209	186	42	20	156	0	0	212
	救急隊員	出動人員	989	235	232	3	754	349	89	17	15	120	0	0	164
		活動人員	171	0	0	0	171	77	10	0	3	33	0	0	48
	消防団員	出動人員	1989	1969	1939	30	20	0	0	20	0	0	0	0	0
		活動人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
参集者	出動人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
出動活動車両	計	出動台数	1942	938	925	13	1004	366	189	29	14	159	0	0	247
		活動台数	442	20	20	0	422	121	78	20	10	78	0	0	115
	工作車	出動台数	400	149	146	3	251	84	53	11	3	40	0	0	60
		活動台数	129	9	9	0	120	35	21	9	3	20	0	0	32
	ポンプ車 (タンク車)	出動台数	614	375	371	4	239	78	50	7	3	39	0	0	62
		活動台数	124	10	10	0	114	29	26	7	3	22	0	0	27
	はしご車	出動台数	20	20	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		活動台数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化学車	出動台数	48	26	25	1	22	9	8	1	0	1	0	0	3
		活動台数	10	0	0	0	10	2	4	1	0	1	0	0	2
	指揮車	出動台数	273	84	83	1	189	71	25	2	3	38	0	0	50
		活動台数	105	1	1	0	104	29	18	2	3	23	0	0	29
	救急車	出動台数	323	78	77	1	245	115	28	4	5	40	0	0	53
		活動台数	55	0	0	0	55	25	3	0	1	11	0	0	15
	船舶	出動台数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		活動台数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘリコプター	出動台数	30	8	8	0	22	5	11	0	0	0	0	0	6
		活動台数	7	0	0	0	7	1	3	0	0	0	0	0	3
	その他	出動台数	48	14	14	0	34	4	14	2	0	1	0	0	13
		活動台数	12	0	0	0	12	0	3	1	0	1	0	0	7
消防団	出動台数	186	184	181	3	2	0	0	2	0	0	0	0	0	
	活動台数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

2 事故発生場所別

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

発生場所別		種別	総数	火災時救助活動			救助活動									
				建物	建物以外		交通事故	水難事故	自然災害事故	機械事故	建物事故	ガス酸欠事故	破裂・爆発事故	その他事故		
発生別場所別救助活動	総数	出動件数	253	68	66	2	185	70	22	3	3	38	0	0	49	
		活動件数	148	9	9	0	139	45	18	3	3	32	0	0	38	
		救助人員	162	6	6	0	156	58	19	3	3	33	0	0	40	
	屋内	住居	出動件数	59	28	28	0	31	0	0	2	0	27	0	0	2
			活動件数	34	8	8	0	26	0	0	2	0	22	0	0	2
			救助人員	33	6	6	0	27	0	0	2	0	23	0	0	2
		その他屋内	出動件数	42	30	30	0	12	1	0	0	3	4	0	0	4
			活動件数	13	1	1	0	12	1	0	0	3	4	0	0	4
			救助人員	15	0	0	0	15	1	0	0	3	4	0	0	7
	屋外	高速自動車道路	出動件数	9	0	0	0	9	9	0	0	0	0	0	0	0
			活動件数	3	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0
			救助人員	4	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0
		その他道路	出動件数	48	0	0	0	48	46	0	1	0	0	0	0	1
			活動件数	32	0	0	0	32	30	0	1	0	0	0	0	1
			救助人員	40	0	0	0	40	38	0	1	0	0	0	0	1
		内水面	出動件数	26	0	0	0	26	3	17	0	0	0	0	0	6
			活動件数	23	0	0	0	23	3	15	0	0	0	0	0	5
			救助人員	26	0	0	0	26	5	16	0	0	0	0	0	5
		外水面	出動件数	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
			活動件数	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
			救助人員	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
		山岳	出動件数	11	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	11
			活動件数	11	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	11
			救助人員	10	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	10
		その他屋外	出動件数	51	8	6	2	43	9	4	0	0	6	0	0	24
			活動件数	28	0	0	0	28	6	2	0	0	5	0	0	15
			救助人員	30	0	0	0	30	8	2	0	0	5	0	0	15
地下	出動件数	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0		
	活動件数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0		
	救助人員	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0		
その他	出動件数	4	1	1	0	3	2	0	0	0	0	0	0	1		
	活動件数	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0		
	救助人員	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0		

救助活動状況署別件数

(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

		合計 (内管外)								
			中	東	西	南	北	浜北	天竜	
出動件数		253 (2)	48	44	34	26	47	24	30	
活動件数		148 (2)	29	27	19	15	23	15	20	
救助人員		162 (2)	30	30	22	19	26	16	19	
火災時救助活動	出動件数	68	17	12	7	11	14	3	4	
	活動件数	9	2	1	1	3	1		1	
	救助人員	6	3		1	2				
	建物	出動件数	66	17	11	7	11	13	3	4
		活動件数	9	2	1	1	3	1		1
		救助人員	6	3		1	2			
	建物以外	出動件数	2		1			1		
活動件数										
救助人員										
救助活動	出動件数	185 (2)	31	32	27	15	33	21	26	
	活動件数	139 (2)	27	26	18	12	22	15	19	
	救助人員	156 (2)	27	30	21	17	26	16	19	
	交通事故	出動件数	70 (1)	6	15	10	5	16	13	5
		活動件数	45 (1)	5	11	6	4	9	7	3
		救助人員	58 (1)	6	13	9	5	13	8	4
	水事難故	出動件数	22 (1)	1	4	4	3	4	2	4
		活動件数	18 (1)	1	4	2	2	3	2	4
		救助人員	19 (1)	1	5	2	2	3	2	4
	風水害自然	出動件数	3			1		2		
		活動件数	3			1		2		
		救助人員	3			1		2		
	機械事故	出動件数	3		1		1		1	
		活動件数	3		1		1		1	
		救助人員	3		1		1		1	
	建物事故	出動件数	38	17	5	5	2	5	3	1
		活動件数	32	16	5	3	1	4	3	
		救助人員	33	16	6	3	1	4	3	
	ガス欠	出動件数								
		活動件数								
		救助人員								
破裂事故	出動件数									
	活動件数									
	救助人員									
その他事故	出動件数	49	7	7	7	4	6	2	16	
	活動件数	38	5	5	6	4	4	2	12	
	救助人員	40	4	5	6	8	4	2	11	

過去10年間の救助出動種別構成比

事故別	年別		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		平成31年 (令和元年)		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	
出動件数	251		218		236		251		233		233		165		213		237		253				
事故種別	火災時救助活動	87	34.7%	78	35.8%	67	28.4%	81	32.3%	84	36.1%	81	34.8%	50	30.3%	74	34.7%	82	34.6%	68	26.9%		
	建物	71	81.6%	75	96.2%	60	89.6%	74	91.4%	76	90.5%	67	82.7%	44	88.0%	68	91.9%	71	86.6%	66	97.1%		
	建物以外	16	18.4%	3	3.8%	7	10.4%	7	8.6%	8	9.5%	14	17.3%	6	12.0%	6	8.1%	11	13.4%	2	2.9%		
	救助活動	164	65.3%	140	64.2%	169	71.6%	170	67.7%	149	63.9%	124	53.2%	115	69.7%	139	65.3%	155	65.4%	185	73.1%		
	交通事故	98	59.8%	67	47.9%	78	46.2%	80	47.3%	68	40.2%	42	24.9%	45	26.6%	51	30.2%	45	26.6%	70	41.4%		
	水難事故	12	7.3%	17	12.1%	15	8.9%	19	11.2%	20	11.8%	21	12.4%	10	5.9%	17	10.1%	19	11.2%	22	13.0%		
	自然災害事故	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	3.6%	3	1.8%
	機械事故	7	4.3%	9	6.4%	14	8.3%	15	8.9%	7	4.1%	8	4.7%	7	4.1%	8	4.7%	4	2.4%	3	1.8%		
	建物事故	13	7.9%	20	14.3%	27	16.0%	23	13.6%	21	12.4%	24	14.2%	21	12.4%	18	10.7%	37	21.9%	38	22.5%		
	ガス酸欠事故	1	0.6%	0	0.0%	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%
破壊・爆発事故	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
その他事故	33	20.1%	26	18.6%	33	19.5%	33	19.5%	33	19.5%	29	17.2%	32	18.9%	45	26.6%	43	25.4%	49	29.0%			
救助隊数 ※1	6隊		6隊		7隊		7隊		7隊		7隊		7隊		7隊		7隊		7隊				
浜松市人口 ※2	810,847		808,959		807,898		806,407		804,989		804,032		799,966		795,771		792,704		788,985				

※1 平成28年度から西消防署に救助隊を配置し、救助隊数は7隊となる。

※2 各年1月1日現在とする。（浜松市総務部文書行政課の行政区別世帯数人

救助隊車両配置及び諸元

(令和6年3月31日現在)

隊名 装備等	中特別高度救助隊	南高度救助隊	東特別救助隊	北特別救助隊	
				E R	A R
配置場所 登録年月日 機装メーカー	中消防署 鴨江出張所 H20. 3. 5 平和機械(株)	南消防署 本署 H29. 2. 20 (株) モリタ	東消防署 上石田出張所 H25. 2. 18 (株) モリタ	北消防署 本署 H25. 3. 18 帝商(株)	
シャーシ 全長 全幅 全高 総重量	日野 BDG-GX7JGWA 8,000mm 2,310mm 3,230mm 11,930kg	日野 SDG-GX7JAA改 7,800mm 2,330mm 3,160mm 11,440kg	日野 SDG-GX7JAA改 7,690mm 2,300mm 3,150mm 10,820kg	日野 TKG-XZU685M 5,980mm 2,020mm 2,700mm 6,065mm	日野 TKG-XZU685M 5,980mm 2,020mm 2,620mm 6,065mm
エンジン 総排気量 最大出力 最大トルク 燃料	6,400cc 162kw 574Nm 軽油	6,400cc 162kw 574Nm 軽油	6,400cc 162kw 574Nm 軽油	4,000cc 110kw 392Nm 軽油	4,000cc 110kw 392Nm 軽油
フロントウインチ 最大引張力 安全装置 動力	5,000kg 逆転及び過負荷防止 自車 P. T. O	5,000kg 逆転及び過負荷防止 自車 P. T. O	5,000kg 逆転及び過負荷防止 自車 P. T. O	4,100kg 逆転及び過負荷防止 自車 P. T. O	4,100kg 逆転及び過負荷防止 自車 P. T. O
リヤウインチ 最大引張力 安全装置 動力	5,440kg 逆転及び過負荷防止 電動式	5,000kg 逆転及び過負荷防止 電動式	5,000kg 逆転及び過負荷防止 電動式	/	/
発電照明装置 発電装置 投光器伸縮装置 投光装置 動力	単相 100v 屈折 2段 旋回角度 360度 メタルハライドランプ 75w×4 自車 P. T. O	単相 100v 支柱 4段 旋回角度 360度 LEDランプ 2000w×2 自車 P. T. O	単相 100v 支柱 4段 旋回角度 360度 LEDランプ 1200w×2 自車 P. T. O	単相 100v 支柱 段 旋回角度 360度 LEDランプ 1000w×2 自車 P. T. O	/
クレーン装置 クレーン容量 ブーム段数 最大地上揚程 最大作業半径	2.93t×2.6m 3段 約9.0m 7.0m	2.93t×2.6m 3段 約9.0m 7.0m	/	/	/
緊急消防援助隊登録	○	○		○	○
総務省消防庁無償貸与車両				○	○

救 助 隊 車 両 配 置 及 び 諸 元

(令和6年3月31日現在)

隊名 装備等	浜北特別救助隊	天竜特別救助隊		西救助隊	非常用救助工作車
		R	P R		
配 置 場 所 登録年月日 艀装メーカー	浜北消防署 本 署 R2. 1. 23 (株) モリタ	天竜消防署 本 署 H22. 12. 16 (株) モリタ		西消防署 本 署 H30. 3. 25 (株) モリタ	東消防署 本 署 H10. 2. 23 (株) モリタ
シャーシ 全長 全幅 全高 総重量	日野 2KG-GX2ABA 7,840mm 2,300mm 3,180mm 11,550kg	日野 BDG-XZU378M 5,610mm 1,900mm 2,760mm 5,730kg	日野 BDG-XZU378M 5,630mm 1,890mm 2,720mm 5,585kg	日野 2PG-GX2AGBF 6,865mm 2,230mm 2,615mm 6,000kg	日野 KC-GDIJGBA改 7,770mm 2,300mm 3,240mm 9,090kg
エンジン 総排気量 最大出力 最大トルク 燃料	5,120cc 177 k w 794Nm 軽油	4,000cc 110 k w 392Nm 軽油	4,000cc 110 k w 392Nm 軽油	5,123 c c 177 k w 794Nm 軽油	7,960cc 215kw 570Nm 軽油
フロントウインチ 最大引張力 安全装置 動力	5,000kg 逆転及び過負荷防止 自車 P. T. O	/	/	5,000kg 逆転及び過負荷防止 電動式	5,000kg 逆転及び過負荷防止 自車 P. T. O
リヤウインチ 最大引張力 安全装置 動力	5,000kg 逆転及び過負荷防止 電動式	5,000kg 逆転及び過負荷防止 電動式	/	/	/
発電照明装置 発電装置 投光器伸縮装置 投光装置 動力	単相 100v 支柱 4段 旋回角度 360度 LEDランプ 2000w×2 自車 P. T. O	単相 100v 支柱 2段 旋回角度 360度 メタルハイトランプ 150w×2 自車 車載バッテリー	単相 100v 支柱 2段 旋回角度 360度 メタルハイトランプ 150w×2 自車 車載バッテリー	単相 100v 支柱 2段 旋回角度 360度 LED 90w×4 自車 車載バッテリー	単相 100v 支柱 5段 旋回角度 350度 メタルハイトランプ 1800w×2 自車 P. T. O
クレーン装置 クレーン容量 ブーム段数 最大地上揚程 最大作業半径	2.93 t×2.6m 3段 約9.0m 7.0m	/	/	/	/
緊急消防援助隊登録	○				
総務省消防庁無償貸与車両					

救助用資器材配備状況

別表1 (一般・特別・高度・特別高度救助隊対象)

(令和6年3月31日現在)

分類	救助隊区分 資器材名	一般		特別					高度		特高		合計
		整備 区分	西	整備 区分	東	北	浜北	天竜	整備 区分	南	整備 区分	中	
一般 救助 用 器具	かぎ付はしご	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	三連はしご	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	金属製折りたたみはしご 又はワイヤはしご	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	空気式救助マット	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	救命索発射銃	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	サバイバースリング 又は救助用縛帯	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	平担架	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	ロープ (各種)	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	カラビナ	○	20	○	20	20	20	20	○	20	○	20	140
滑車	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35	
重量 物 排 除 用 器具	油圧ジャッキ	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	油圧スプレッダー	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	可搬式ウインチ	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	ワイヤーロープ	○	2	○	2	2	2	2	○	2	○	2	14
	マンホール救助器具	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	救助用簡易起重機	△	0	△	0	0	0	0	△	0	△	0	0
切 断 用 器具	油圧切断機	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	エンジンカッター	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	ガス溶断器	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	チェーンソー	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	鉄線カッター	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
破 壊 用 器具	万能斧	○	2	○	2	2	2	2	○	2	○	2	14
	ハンマー	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	携帯用コンクリート破壊器具	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
検 知 ・ 測 定 用 器具	生物剤検知器	△	0	△	0	0	0	0	△	0	○	6	6
	化学剤検知器	△	0	△	0	0	0	0	△	0	○	6	6
	可燃性ガス測定器	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	有毒ガス測定器	△	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	酸素濃度測定器	△	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	放射線測定器	△	0	○	1	1	1	1	○	1	○	57	62
呼 吸 保 護 用 器具	空気呼吸器 (予備ボンベ含む)	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	空気補充用ボンベ	△	0	△	0	0	0	0	△	0	△	0	0

別表1 (一般・特別・高度・特別高度救助隊対象)

分類	救助隊区分 資機材名	一般		特別					高度		特高		合計
		整備 区分	西	整備 区分	東	北	浜北	天竜	整備 区分	南	整備 区分	中	
隊員 保護 用器具	皮手袋	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	耐電手袋	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	安全帯	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	防塵メガネ	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	携帯警報器	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	防毒マスク	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	化学防護服(陽圧式除く)	△	0	○	2	2	2	2	○	2	○	13	23
	陽圧式化学防護服	△	0	○	5	5	5	5	○	5	○	5	30
	耐熱服	△	0	△	2	2	2	2	△	2	△	2	12
	放射線保護服(個人線量計含む)	△	0	○	2	2	2	2	○	2	○	2	12
検査用 器具	簡易画像探索器	△	0	○	1	1	1	1	○	1	○	1	6
除染用 器具	除染シャワー	△	0	○	1	1	1	1	○	1	○	1	6
	除染剤散布器	△	0	○	2	2	2	2	○	2	○	2	12
水難 救助 用器具	潜水器具一式	△	10	△	0	0	0	0	△	0	△	0	10
	流水救助器具一式	△	5	△	5	5	5	5	△	5	△	5	35
	救命胴衣	△	5	△	5	5	5	5	△	5	△	5	35
	水中投光器	△	5	△	0	0	0	0	△	0	△	0	5
	救命浮環	△	3	△	2	2	2	2	△	2	△	2	15
	浮標	△	1	△	0	0	0	0	△	0	△	0	1
	救命ボート	△	1	△	1	1	1	1	△	1	△	1	7
	船外機	△	1	△	1	1	1	1	△	1	△	1	7
	水中スクーター	△	1	△	0	0	0	0	△	0	△	0	1
	水中無線機	△	1	△	0	0	0	0	△	0	△	0	1
	水中時計	△	5	△	0	0	0	0	△	0	△	0	5
	水中テレビカメラ	△	1	△	0	0	0	0	△	0	△	0	1
山岳 救助 用器具	登山器具一式	△	0	△	0	0	0	1	△	1	△	0	2
	バスケット担架	△	0	△	1	1	1	1	△	1	△	1	6
その 他の 救助 用器具	投光器一式	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	携帯投光器	○	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	携帯拡声器	○	2	○	2	2	2	2	○	2	○	2	14
	携帯無線機	○	2	○	2	2	2	2	○	2	○	2	14
	応急処置用セット	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	車両移動器具	△	0	△	1	1	1	1	△	1	△	1	6
	その他の携帯救助工具	○	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7

別表2（特別・高度・特別高度救助隊対象）

分類	救助隊区分 資機材名	一般		特別				高度		特高		合計	
		整備 区分	西	整備 区分	東	北	浜北	天竜	整備 区分	南	整備 区分		中
重量物 排除 器具	マット型空気ジャッキ一式	/	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	大型油圧スプレッダー	/	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	救助用支柱器具	/	0	△	1	1	1	1	△	2	△	1	7
	チェーンブロック	/	0	△	1	1	1	1	△	1	△	1	6
切断用 器具	空気鋸	/	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	大型油圧切断機	/	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	空気切断機	/	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	/	0	△	0	1	0	0	△	1	△	1	3
破壊用 器具	削岩機	/	0	○	1	1	1	1	○	1	○	1	6
	ハンマドリル	/	0	○	1	1	1	1	○	1	○	1	6
呼吸保 護用 器具	酸素呼吸器	/	0	○	5	5	5	5	○	5	○	5	30
	簡易呼吸器	/	0	○	2	2	2	2	○	2	○	2	12
	防塵マスク	/	5	○	5	5	5	5	○	5	○	5	35
	送排風機	/	0	○	1	1	1	1	○	1	○	1	6
	エアラインマスク	/	0	△	0	0	0	1	△	0	△	1	2
隊員保 護用 器具	耐電衣	/	0	○	2	2	2	2	○	2	○	2	12
	耐電ズボン	/	0	○	2	2	2	2	○	2	○	2	12
	耐電長靴	/	0	○	2	2	2	2	○	2	○	2	12
	特殊ヘルメット	/	0	△	0	0	0	0	△	0	△	0	0
その他 の救 助用 器具	緩降機	/	0	○	1	1	1	1	○	1	○	1	6
	ロープ登降機	/	0	○	1	1	1	1	○	1	○	1	6
	救助用降下機	/	0	△	0	0	0	0	△	0	△	0	0
	発電機	/	1	○	1	1	1	1	○	1	○	1	7

別表3（高度・特別高度救助隊対象）

分類	救助隊区分 資機材名	一般		特別				高度		特高		合計	
		整備 区分	西	整備 区分	東	北	浜北	天竜	整備 区分	南	整備 区分		中
高度救 助用 器具	画像探索機	/	0	/	1	1	1	1	○	1	○	1	6
	地中音響探知機	/	0	/	1	0	0	1	○	1	○	1	4
	熱画像直視装置	/	0	/	1	1	2	1	○	1	○	1	7
	夜間用暗視装置	/	0	/	1	1	0	1	○	1	○	1	5
	地震警報器	/	0	/	0	1	0	0	○	1	○	1	3
	電磁波探査装置	/	0	/	0	1	0	0	△	0	○	1	2
	二酸化炭素測定装置	/	0	/	0	1	0	0	△	0	○	1	2
	水中探査装置	/	0	/	0	0	0	0	△	0	○	1	1
	検知型遠隔探査装置	/	0	/	0	0	0	0	△	0	△	0	0

凡例

【救助隊区分】
「一般」省令 2 条救助隊・・・西救助隊
「特別」省令 4 条救助隊・・・東、北、浜北、天竜特別救助隊
「高度」省令 5 条救助隊・・・南高度救助隊
「特高」省令 6 条救助隊・・・中特別高度救助隊
【資機材整備区分】
○・・・必須整備
△・・・地域の実情により整備
／・・・整備義務対象外（自主整備可能）